

News Release

令和元年5月30日

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行する 「サステナビリティボンド」への投資について

JESCOは、このたび、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が発行するCBI認証付きサステナビリティボンドへの投資を実施しました。

「サステナビリティボンド」とは、調達資金の使途が、①環境改善効果があること（グリーン性）及び②社会的課題の解決に資するものであること（ソーシャル性）の双方を有する事業に限定された「サステナビリティファイナンス」の一形態です。

本債券は、複数の国際基準^(※)に適合している旨、国際的な第三者評価機関であるDNV GLによる検証と、環境改善効果についてはDNV GLによる評価に加え厳格な国際基準を設けるCBI（Climate Bonds Initiative: 低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際NGO）からのプログラム認証（一度の認証で継続的な債券発行が可能となる制度）をアジアで初めて取得しております。

（※）気候ボンド標準 2.1 版、低炭素交通基準（CBI）、グリーンボンド原則・ソーシャルボンド原則・サステナビリティボンドガイドライン（2018年国際資本市場協会 ICMA）等

本債券発行による調達資金は、「鉄道建設業務」と「船舶共有建造業務」の建設・建造資金または借換資金に充当される予定であり、両業務を通じて国連持続可能開発目標（SDGs）の達成にも貢献するものであります。

JESCOは、将来の支出に備えた資金運用の一環として、安全性・収益性の確保のみならず、持続可能な社会の形成に寄与するためESG（環境・社会・企業統治）課題も考慮して、本債券への投資を実施いたしました。今後も、適切なリスク管理のもとで、資金面での社会貢献活動に取り組んでまいります。

<本債券の概要>

債券名：第125回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
（CBI認証付きサステナビリティボンド）

発行額：総額100億円

期間：5年（2024年6月20日償還）

以上